

大和郡山市子ども・子育て会議  
平成30年度 第2回会議

○開催日時

平成31年3月19日（火）午後2時～

○開催場所

大和郡山市役所 議会第2委員会室

○出席者

委員 9名

生田委員、乾委員、上田委員、往西委員、高田委員、堤委員、森田委員、米田委員、  
吉野委員

(敬称略 五十音順)

事務局 4名

○傍聴なし

○次第

1 開 会

2 議 題

(1) 大和郡山市子ども・子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状について

(2) その他

3 閉 会

○議事

1 開 会

事務局 : ただ今より、平成30年度 第2回大和郡山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。本日は、ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
私はこども福祉課の北浦でございます。本日の会議資料の確認をさせていただきます。

～配付資料の確認～

事務局 : 本日は、内藤委員、藤田委員、吉田委員がご欠席ですので、9名の委員の参加となり、

過半数以上の方にご出席いただいておりますので、大和郡山市子ども・子育て会議条例第7条第2項に基づき 会議が成立する旨、ご報告させていただきます。今回は、傍聴希望者はいらっしゃいません。

事務局 : これからの議事については、大和郡山市子ども・子育て会議条例第7条第1項に基づき 会長のもとで進めさせていただきます。生田会長、宜しくお願いいたします。

生田会長 : 本日はお忙しいなか、お集まり頂きありがとうございます。

今年度は第2回である今回が、本年度最後の「子ども・子育て会議」となります。私の保育園では、卒園したのちに小学校を卒業した子どもたちがあいさつに来てくれまして、6年経って立派に成長してくれたなという思いと共に、当時の面影がのこっており安心する思いもありました。当時の担任と会う事ができて良かったと言いながら思い出話に花を咲かせていたところでもあります。保育園、幼稚園は、卒園した子どもたちの心の故郷として地域にかけがえのないものであることをあらためて確認したところです。

さて、本年度の締めくくりとなる今回の会議は審議事項はなく、事務局からの報告事項があります。

それでは、まず、「大和郡山市子ども・子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」について、事務局より報告をお願いいたします。

事務局 : それでは「大和郡山市子ども子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」について資料に沿って報告させていただきます。資料は A4・5 枚横向きの「大和郡山市子ども子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」をご覧ください。

現状実績につきましては、主に平成30年12月末日のデータを使用させていただいております。各表については、事業計画段階の「平成30年」の数値を色付けておりますので、その数値と右から2列目の「現状実績」の数値を確認していただきます。なお、両数値の差を参考として右端の列にお示ししております。

まず、1枚目「児童人口推計」ですが、平成30年推計では0歳「525人」に対し、12月末の現状は「506人」、1～2歳「1137人」に対し、「1105人」、3～5歳「1922人」に対し、「1880人」、6～8歳「2079人」に対し、「2003人」、9～11歳「2131人」に対し、「2186人」、児童人口合計は「7794人」に対し、「7680人」で推計より実績が114人下回っております。

次に「幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策」ですが、1号認定の平成30年度計画値「887」に対し、実績値は「775」、2号認定「872」に対し、「1049」、3号認定0歳「160」に対し、「96」、3号認定1・2歳「487」に対し、「550」であります。見込みに比べて実績は1号認定は112人少なく、2号認定は177人多くなっております。また、3号認定は0歳児が少なく、1・2歳児の実績が多くなっております。

続きまして、2枚目をご覧ください。「地域子ども子育て支援事業の量の見込みと確保方策」の(1)延長保育事業ですが、平成30年度推計「509」に対し、実績は「542」です。(2)放課後児童クラブ事業については1～3年生は平成30年度見込「274」に対し実績値は「551」、4～6年生「143」に対し「186」で箇所数は11箇所から14箇所に増えております。(3)子育て短期支援事業は、平成30年度見込「114」に対し実績値「23」、施設数は6箇所です。

3枚目をご覧ください。(4)地域子育て支援拠点事業は、平成30年度見込「1535」に対し、実績値「3032」、施設数は6箇所です。(5)一時預かり事業は1号認定の幼稚園在園者、平成30年度見込「3805」に対し、実績は「3788」、2号認定の幼稚園在園者は1号認定の数値に含まれております。上記以外は、「7966」に対し「2074」であります。(6)病児病後児保育事業は、平成28年4月から郡山東保育園で実施しましたが、見込「535」に対し実績は「0」です。

4枚目ですが、(7)ファミリーサポートセンター事業は、1～3年で平成30年度見込「402」に対し、「342」4～6年「198」に対し「75」であります。(8)利用者支援事業については、共に1であります。

5枚目はすべて保健センターの事業となります。(9)乳児家庭全戸訪問事業は、平成30年度見込「645」に対し「398」。(10)養育訪問支援事業は平成30年度見込「15」に対し「7」。(11)妊産婦検診は、平成30年度見込「865」に対し、「748」であります。

以上でございます。

生田会長：次に、その他、事務局からの報告事項をお願いします。

事務局：はい。まず、昭和保育園につきまして報告いたします。

今回、市で保育園を運営している他の民間事業者を対象に、事業継続のための、運営事業者の選定委員会を開催しました。その結果、社会福祉法人 郡山双葉会が運営事業者として決定しました。今後は郡山双葉会と社会福祉協議会が1年をかけて引き継

ぎ業務を行いまして、来年4月から、郡山双葉会が昭和保育園を運営してまいります。そして、これより5年以内に建て替えを行い、認定こども園への転換を図るという予定で法人より承諾、了解を得ています。

次に、同じく郡山双葉会が運営する、ふたば保育園がこの4月より認定こども園として新たにスタートするというのが県の審査会で正式に決定したということをご報告申し上げます。

生田会長：子ども・子育て支援事業計画とその他の説明について、ご質問はございますか。

上田委員：次期「子ども・子育て支援事業計画」策定についてどのようなスケジュールを考えているか。

事務局：第一期計画の、“「子どもの最善の利益」が保障される社会の実現を目指すことを基本に、地域、関係機関、行政等が連携しながら、安心して子どもを産み、育て、子ども・大人・社会がともに育つ地域やまちを目指す”という点は継承しつつ、内閣府によって示されている追加点や変更点をふまえた上で、まず、量の見込み算出のためのアンケート調査を行い、アンケート調査終了後、結果をふまえての計画冊子作成、そして計画冊子概要版の作成を考えています。  
いずれも、「子ども・子育て会議」等において委員や市民の皆様のご意見をいただきながら、大和郡山市の地域性をふまえた計画を策定したいと考えております。

子ども・子育て会議は、アンケート調査の段階で2回、計画冊子作成の段階で3回、合計5回を予定しています。ここ数年は年度の後半に会議を開催しておりましたが、来年度は年度前半から会議を開催したく思っております。皆様のお力をいただけますよう、宜しく願いいたします。

吉野委員：見込数値と現状の数値をご説明いただき、認識しましたが、私たちとしてはこれをどのように考え、意見を述べたら良いのでしょうか。

生田会長：数値の乖離のあるところに、近年の子育て事情の変化を見ることができ、この状況をふまえて、次期計画の策定に活かすということになるかと思いますが、事務局いかがでしょうか。

事務局：ご意見いただきましたように、このデータは非常に見づらく解りにくいというお話をいただきましたので、今後は皆様に見やすくわかりやすいデータにしたい、今後に活

かしてまいります。

生田会長：ありがとうございました。他、何もないようでしたら、これですべての議事が終了しましたので、これを持ちまして、私の司会を終了させて頂き、事務局にお願いしたいと思えます。もし、会議終了後に気づかれた点等がありましたら、事務局までお知らせ頂ければ結構ですので、よろしくお願いいたします。

事務局：委員の皆様、本日はありがとうございました。

本日の会議内容につきましては、後日、市公式ホームページに掲載させていただく予定でございます。

なお、次年度の子ども子育て会議ですが、今回同様、開催日程が決まり次第、事前に文書でお知らせさせていただく予定であります。なお、委員の皆様には、今後も大和郡山市子ども子育て会議委員として、お力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

以上